

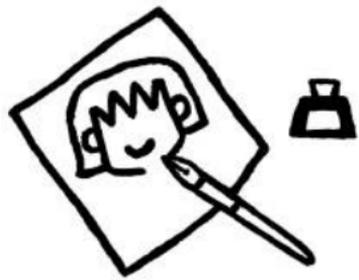
歴代アニメ視聴率ランキングでは上位に入り、テーマソング「おどるポンポコリン」は日本レコード大賞も受賞。国民的な人気アニメ「ちびまる子ちゃん」を生んだ漫画家さくらももこさんの命を奪ったのは、乳がんでした。享年53歳。

まる子は作者自身の子供時代を投影した主人公で、学校や家庭でのありふれた日常を描いています。がん患者は皆さん普通の暮らしのありがたさを口にしますが、この漫画の穏やかで優しいタッチの裏には乳がんと闘病があったような気がします。

乳がんの5年生存率は9割を超えますから、彼女の乳がんは40代に発症したと思われる

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

# 乳がん急増、背景に少子化

代に乳がん発症のピークがあるのは、そのためです。

国立がん研究センターによると2017年のがん罹患（りかん）者数の予測値では、年間で約8万9100人の女性が乳がんと診断され、約1万4400人が乳がんで亡くなるとされました。死亡者数はこの30年で3倍に増えました。女性の11人に1人が乳が

す。授乳が乳がんを予防する効果を持つことも確実視されていますから、子供を産み、母乳で育てる女性ほどリスクが低くなるといえます。

47都道府県で乳がんが最も多いのは東京都で、最低の鹿児島県の2倍以上です。東京の出生率が全国最低であることに関係があると思います。

がんの早期発見のカギは定期的な検診で、乳がんは2年に1度のマンモグラフィーが基本です。しかしそれ以上に大切なのが自己触診で、乳がんが発見される契機の半分以上が自己触診といわれます。

これらのセットを欠かさないことが乳がんから身を守るために一番大切なことなのです。（東京大病院准教授）

ます。ピークが30代の子宮頸（けい）がんとともに、乳がんは若い世代に多いがんの代表です。

がんは加齢による細胞の老化といえる病気ですから、年

齢を重ねるにつれて患者数が増えます。ところが乳がんの場合、加齢以上にリスクを高めるのが女性ホルモンの存在

で、生理がある時期にリスクが高くなります。40代から50

んになる計算です。

乳がんが急増した背景には近年の少子化があると考えられます。妊娠から授乳に至る約2年間は生理が止まるため、乳がんリスクが下がります。